

施設清掃作業の基本的方法

(日常清掃、休日清掃)

作業名	作業方法
1. ダストコントロール方式清掃	床の清掃に用いる、低粘度の鉱物性不乾性油の乳化剤を吸収させたモップ等を使用して床面の除塵、拭き掃除を行う。
2. 除塵	ガラス器具、鏡、陶器類及びステンレス、その他金属類等の除塵は 帯電用クロスを使用して丁寧かつ入念に行う。
3. 手垢の拭き取り	ドアノブ、手摺り、エレベーターの作動スイッチ等の手垢の拭き取り。洗剤と湿った布で拭きとった後、乾いた布で仕上げる。
4. マット、カーペットの清掃	(1) ゴム製、合成樹脂製マットの清掃 真空掃除機で砂塵等を吸い取り水拭きする。 (2) シュロ製マットの清掃 軽くたたいて埃を除去する。 (3) 金属製マットの清掃 真空掃除機で砂塵等を吸い取る。 (4) 泥落しマット、吸水マットの清掃 給水専用掃除機等で砂塵、水等を吸い取り、汚れの甚だしいときは、消毒、洗浄及び乾燥する。 (5) カーペット、じゅうたん類 織毛を損傷しないよう真空掃除機で折り目に従い丁寧かつ入念に清掃する。汚れ箇所のあるときは、適合する洗剤及び有効と認められる器具を使用し除去する。
5. バキューム作業	エレベーター、廊下の溝の砂塵等を真空掃除機で除去する。
6. 掃き掃除	化学処理モップを用いて埃の舞い上らないように入念に掃く。汚れの程度によっては水まき、水拭き、空拭きを併用する。
7. 中性洗剤、除菌剤による水拭き	床がよく掃いてあるか確認後、中性洗剤、必要があれば除菌剤を使用しモップ、雑巾等で拭き上げた後、清水で洗剤分が残らないように拭き取る。
8. 衛生陶器、床面の洗浄	中性洗剤もしくは、特殊洗剤を含ませたスポンジ又はブラシ等でこすり汚れを除去後、雑巾等で拭う。
9. 鏡、洗面台の清掃	中性洗剤を含ませたスポンジ等でこすり、汚れをきれいに除去し、雑巾等で拭う。
10. 壁面ダストクロス掃除	帯電剤クロスできれいに拭く。

作業名	作業方法
11. 金属面の磨き作業	材質に適合した材料で磨き、きれいに拭き上げる。
12. 紙屑、茶殻等の処理	紙屑、茶殻、吸殻及び不燃物等は、各々ポリ袋に類別し、駐輪場横集荷収集場へ搬入する。
13. パトロール方式によるゴミ採取	箒、塵取りを持ってパトロール方式によりゴミを採取する。
14. 衛生消耗品等の補給	トイレットペーパー及びその芯、手洗い用石鹼、防臭剤、ポリ袋等は常に使用状況を点検し、不足分を補充する。
15. 汚物処理	ポリ袋に入れて所定の容器に収納し、一般ゴミと同じく集荷収集場へ搬入する。
16. マットの取替え	玄関、各通用口の入口マットが汚れた場合は、取替えるものとする。 (2週で1回交換)
17. 外周の清掃	箒、塵取りを持ってパトロール方式によりゴミを採取する。

(定期清掃)

作業名	作業方法
1. 洗浄ワックス塗布	<p>作業手順</p> <p>①動かし得る備品は移動する。</p> <p>②中性洗剤溶液又は、特殊洗剤液を適量塗布し、電動研磨機等で床に傷がつかないように隅々まで磨き上げる。</p> <p>③汚水をドライヤーで切りバケツに入れる。</p> <p>④きれいなモップで拭く。</p> <p>⑤ワックス塗布の前に床面に4～5回シール剤でシールする。</p> <p>⑥ワックスは3回以上塗布する。（塗布間隔を十分とる。）</p> <p>⑦動かした備品は元の位置に戻す。</p>
2. ワックス塗布補修	<p>スプレーバフ作業方式により、シール剤、樹脂ワックス等の部分的補修を行う。</p> <p>作業手順</p> <p>①仕上げ剤ワックス、洗剤を混合した特殊なものを使って床にスプレーする。</p> <p>②湿った床の表面を研磨パットでバフする。</p> <p>③ワックス塗布仕上げをする。</p>
3. 高所等の水拭き	壁面の高所及び低所部分を雑巾等で水拭きする。
4. 泥処理	マットの下、側溝及び排水溝の砂塵汚泥等の堆積物及びゴミを排除する。
5. 仕切、扉の清掃	中性洗剤又は材質に適合した特殊洗剤で汚れを除去後、空拭きする。
6. 壁面の汚れ除去	材質の適合した特殊洗剤を用いて、汚れ部分を除去後、空拭きする。
7. 天井の塵払い	羽毛払い又はホームモップで天井の隅々まで埃やくもの巣等を入念に取り払う。
8. 洗浄	床面を中性洗剤で洗浄後、きれいな水で流す。 排水穴がない場合は、汚水をドライヤーで切り、バケツに入れる。
9. ダストコントロール方式	床の清掃に用いる。低粘度の鉱物性不乾性油の乳化剤をモップ等に吸収させたものを使用し、除塵、清掃を行う。
10. 照明器具、案内表示板等の清掃	中性洗剤もしくは、特殊洗剤（洗剤を使用する前に甲の承認を得ること。）を含ませた布をよく絞るか、真空掃除機を用い、除塵した後、帶電クロス等で拭く。 器具等は蛍光灯を除き原則として分解せずに使う。
11. カーペット洗浄	カーペット専用の特殊洗剤及び機器を使用し、全面洗浄し汚れを除去後、水分を取る。
12. 手術室等の衛生区域の清掃を行う場合	当該施設を病原菌等で汚染しないよう、入室時の手洗いやガウンテクニックを適切に行うほか、HEPAフィルター付き掃除機を使用するなど所要の措置を講じる。